

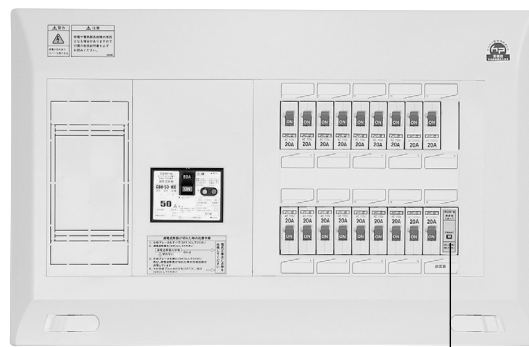
雷サージから家庭内の機器を保護!



避雷器組込例



避雷器 (LA-1)



避雷器組込例

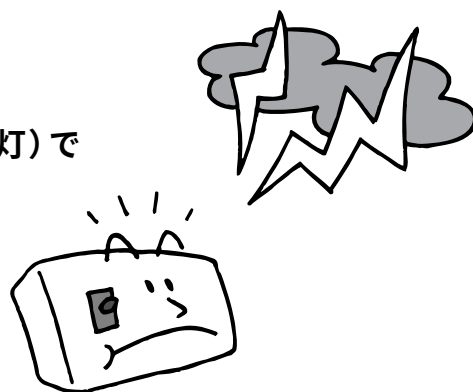
特長

■ 電源線、アース線から侵入する誘導雷サージから家庭内の機器を保護します。

※ 電話線やTVアンテナ線等から侵入する誘導雷サージからは保護できません。

■ 避雷器の動作確認ランプ(通常時点灯、異常時消灯)で正常動作が目視確認できます。

■ 避雷器は分岐右下の1回路分スペースに組み込みます。



保守・点検

- 定期的に避雷器のランプ(赤色)が点灯していることを確認してください。
・・・特に襲雷時にランプの表示確認を行ってください。
- 避雷器のランプが消灯している場合は保護機能がないため、直ちに新品と交換してください。
・・・交換は、電気工事士免許取得者の方が行ってください。
(補修部品:パールミニ用避雷器。)
- DC500V以下の絶縁抵抗試験(対地間)は、避雷器を接続したままで実施することができます。
・・・絶縁抵抗が低い場合は、特性が劣化している可能性がありますので避雷器を新品と交換してください。
線間の絶縁抵抗試験は、避雷器故障の要因となりますので実施しないでください。
- 耐圧試験を実施する場合は、避雷器の接続を外して実施してください。

オプション組込価格

型式	ご注文品番	標準価格(円)
LA-1	LA01Q	8,100
工賃		800
合計		8,900

避雷器 (LA-1) の仕様

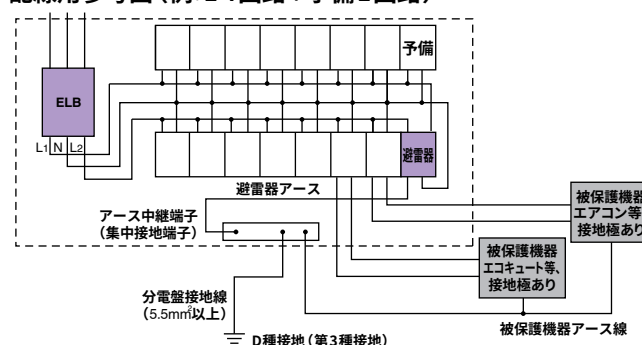
適用回路	1φ3W AC110/220V
公称放電電流	5kA (8/20μs)
電圧防護レベル	線間: 800V以下 対地間: 1500V以下

接地について

- (1) 被保護機器は、分電盤のアース端子より配線されたアース線に接続し、避雷器と接続一点アースとしてください。被保護機器と避雷器が接続一点アースされていない場合、保護能力が大きく低下する可能性があります。
- (2) 住宅用分電盤の盤アース端子は、5.5mm以上の太さの電線で接地してください。盤アース端子の接地は、D種接地(第3種接地)で抵抗値を100Ω以下にしてください。
- (3) 避雷針の接地との共用はしないでください。
- (4) 配線は、「配線用参考図」を参考にしてください。

(下図参照)

配線用参考図(例:14回路+予備1回路)



内線規程により、住宅用分電盤に雷保護装置を施設する場合の規定が追加されました。(1361-1~3条)
雷保護装置を施設した住宅用分電盤は集中接地端子を備えたものであること。(勧告)